

# 平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

## 1 施設の概要等

施設名	帝釈公園施設		
所在地	庄原市東城町三坂		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	ケビン（5人用、10人用）、オートキャンプ場、多目的ホール（体育館等）等		
指定管理者	3期目	H26.4.1～H31.3.31	（一財）休暇村協会
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	（一財）休暇村協会
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	（財）休暇村協会

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		3期	29～30	24,500人	—	—
28			24,500人	22,734人	△177人	△1,766人 (92.8%)
27			24,500人	22,911人	981人	△1,589人 (93.5%)
26			24,500人	21,930人	△1,803人	△2,570人 (89.5%)
2期平均 21～25		22,600人	23,733人	2,436人	1,133人 (105.0%)	
1期平均 18～20		—	21,297人	2,341人	—	
17 (導入前)		—	18,956人	—	—	
増減理由	ログケビンの利用者は増加したが、それ以上にオートキャンプ場等の利用者数が減少したため、入場者数は前年度より微減となり、目標は達成できなかった。					

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施とチェックアウト時の聞き取り	主にケビン利用者（250人程度）
	【主な意見】	【その対応状況】
	アメニティを充実してほしい（浴衣・調味料など）	対応に向けて検討している。

## 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	業務実績報告書
	日報（必要随時）	—	緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議（1回・現地）	<b>【特記事項等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者連絡会議</li> <li>H27年度完了検査の実施</li> </ul> <b>【指定管理者の意見】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設等の改修要望</li> </ul> <b>【県の対応】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設等改修計画の説明</li> <li>管理業務の履行状況を確認（→適正）</li> </ul>		
現地調査（7月に実施）			

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	3期	28	1,852	0		52	3期	28	53,227
27		1,852	0	27	53,509			6,052	
26		1,852	52	26	47,457			5,608	
	2期平均 21~25		1,800	△531		2期平均 21~25		41,849	2,087
	1期平均 18~20		2,331	△660		1期平均 18~20		39,762	2,128
	17(導入前)		2,991	—		17(導入前)		37,634	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	1,852	1,852	0	
		料金収入	53,227	53,509	△282	利用料金制(※1) 利用者数減による
		その他収入	3,552	3,409	143	物品貸出数の増による
		計(A)	58,631	58,770	△139	
	支出	人件費	32,760	28,421	4,339	派遣職員増による
		光熱水費	7,257	7,284	△27	
		設備等保守点検費	962	1,111	△149	保守点検費の増
		清掃・警備費等	7,048	6,812	236	消耗品費増
		施設維持修繕費	1,428	1,360	68	
		事務局費	5,865	5,952	△87	
		その他	7,036	7,618	△582	公課費の減
		計(B)	62,356	58,558	3,798	
		収支①(A-B)	△3,725	212	△3,937	
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—		
	支出(D)	—	—	—		
	収支②(C-D)	—	—	—		
合計収支(①+②)		△3,725	212	△3,937		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び  
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	朝のお散歩会（春季～秋季）やウォークラリー等の園地内散策，ホテル観賞会（夏季），ナイトハイク（夏季）等の自然景観を活用したイベントを継続した。	自然景観を生かしたイベントを継続する等，施設の設置目的に沿った取組を行っている。
	○業務の実施による，県民サービスの向上	アンケート結果を踏まえ，バスタオルを備え付けるなど，利用者満足度の向上に努めた。	利用者のニーズを把握し，可能なものから随時対応し利用者満足度の向上に努めている。
	○業務の実施による，施設の利用促進	地元紙やマスコミへのセールス，休暇村協会を通じた営業，季刊誌及びメールマガジンの発行等を継続し，施設の利用促進を図った。	休暇村協会と連携した営業や，季刊誌の発行等の取組により，施設の利用促進に努めているが，目標値は下回った。
	○施設の維持管理	点検及び修繕について，県と連携して適宜対応した。	修繕等については，安全面や利用に直結するものを最優先に行い，適正な管理を行っている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	休暇村帝釈峡と一体的な職員配置を行い，業務の効率化に努めた。	休暇村帝釈峡との一体的な業務により効率的な管理運営が図られている
	○効率的な業務運営	休暇村帝釈峡と一体的な管理運営を行い，業務の効率化と経費の削減に努めた。	職員の資格取得等を継続する等，人材育成に取組み，効率的な業務運営に努めている。
	○収支の適正	退職者補てんのため，派遣職員を雇用したことにより，支出が増加した。	収支が赤字に転じているため，更なる収入の確保と経費の節減に努める必要がある。
総括		利用者ニーズに応えたイベントや利用促進に向けた広報や営業活動を継続し，リピーターの確保や新規の利用促進に努め，利用者数，料金収入とも昨年と同程度であった。	利用者ニーズへの積極的な対応等により利用促進に努めているが，周辺の他のオートキャンプ場の影響等もあり，全体の利用者数は目標値を下回った。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	利用者ニーズに応えた新たなイベント等を企画し，利用促進を図っていく。	指定管理者と連携し，現在利用の少ない日帰りでのオートキャンプ場利用者を増加させる取組を行い，施設全体の目標達成を目指す。
中期的な対応	施設の老朽化に伴う，計画的な改修が必要である。	緊急性の高いものから対応するよう努める。